

# 港湾荷役作業員

## どんな仕事？

港湾運送事業者に雇用されて、船と港でのコンテナなど荷物の積み卸しや運搬の作業を行う。港湾荷役作業員は、船内荷役(沖荷役)作業員と沿岸荷役作業員などが含まれる。船内荷役の作業では、船舶に乗り込んで荷物の積み卸し作業を行う。10人から20人程度の人数で組を編成して船に乗り込み、デッキマンと呼ばれる作業指示者がウインチ(巻き上げ機)を動かす作業者に合図を送り、船倉に積まれた荷物を吊り上げて、港に降ろす。その時に一般の作業者は、ウインチの吊り具の掛け外し、船倉の奥の荷物を運び出す作業、ワイヤーを巻きつける作業を共同で行う。沿岸荷役の作業では、岸壁側や埠頭ターミナルで監督の指示を受けながら、岸壁と屋根がついた貨物置場(上屋)や荷さばき地、野積場の間で貨物の運搬や搬出を行う。荷さばき地では、貨物の積み上げと取り崩し、仕分けなどの荷さばき作業を行う。主要港にあるコンテナターミナルや鉱石専用埠頭などでは、大型クレーンを使用した効率的な荷役が行われている。また一部の港では、はしけを使用した荷役(はしけ荷役)や筏(いかだ)による荷役も行われており、就労する港によって作業にかなりの違いがある。◇ よく使う道具、機材、情報技術等 大型クレーン、クレーン、フォークリフト、ウインチ(巻き上げ機)、吊り具、揚貨装置、筏(いかだ)、コンテナ、作業中の保護具(ヘルメット、ゴーグル、グローブ、安全靴等)

出典:独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)

### コンテナターミナル

コンテナターミナルとは、コンテナをのせた船やトレーラーが集まる場所で、コンテナを積んだりおろしたりする場所のことです。国内外から運ばれてきたコンテナや、これから国内外へと運ばれるコンテナが管理されています。

### ガントリークレーン



### ウインチ(巻き上げ機)



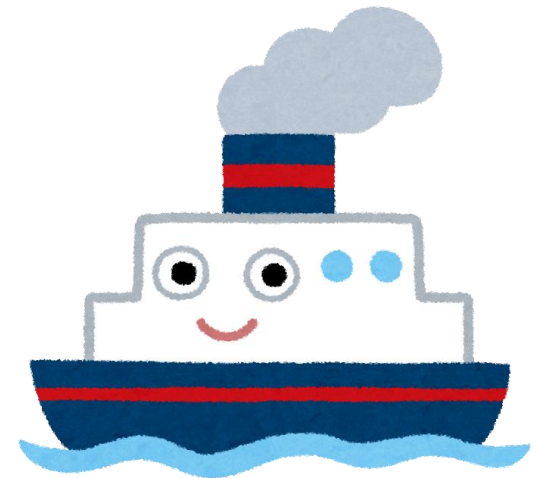
港湾運送業セミナー

港湾運送の仕事内容と  
魅力について

(一社) 北九州港振興協会

# 港とは

船が安全に出入り、停泊でき、海と陸の交通接点として旅客の乗降、貨物の積み卸しをする場所



# 港の役割

みなさんの生活と産業活動を支える重要な物流・生産基盤である

船が安全に停泊、航行できるようにする

人命・財産を直接防護する港湾海岸施設の役割がある

船からトラック、鉄道などの陸上の交通へ、また、反対に陸上の交通から船へと、人の乗り換え、物の積み替えや送りだしをとぎれることなくスムーズに行う大切な場所である





99%以上海上輸送





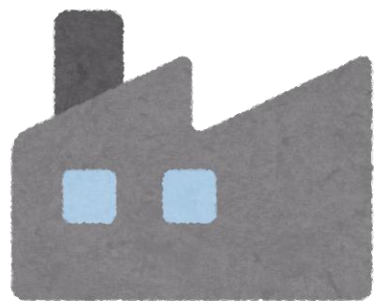
# 海上輸送の流れ

荷主 → 船舶代理店 →

船



網取りボート  
給水



ユーザー

運送業

通関



# 北九州港の位置



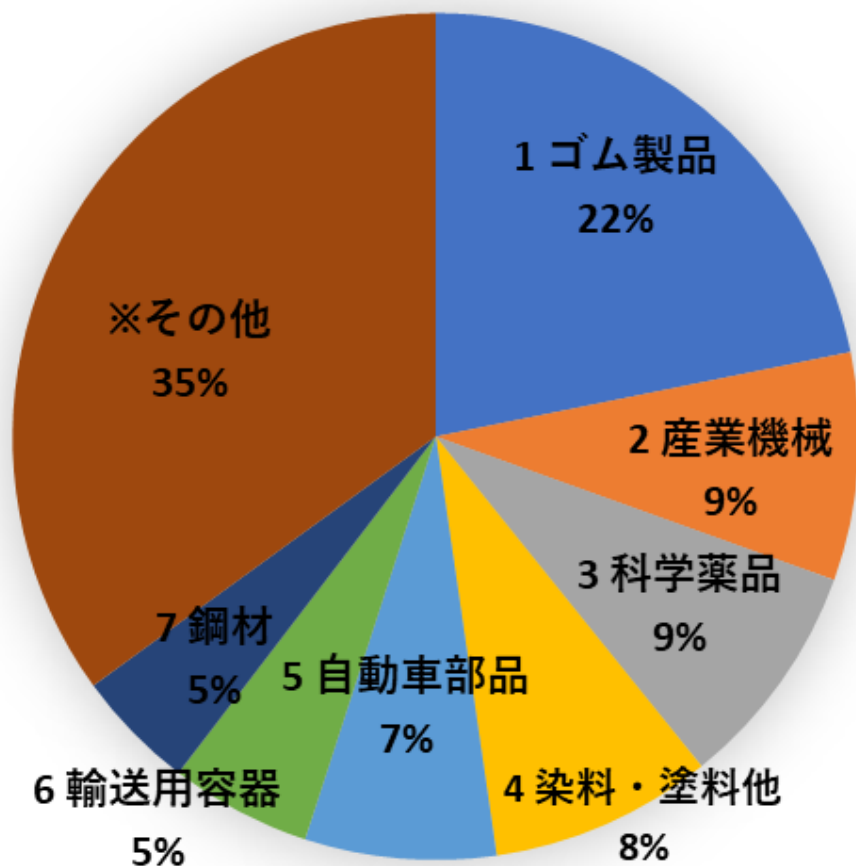
# 北九州港の歴史

- 1185年 壇ノ浦合戦(源平決戦場)
- 1612年 巖流島の戦い(武蔵、小次郎)
- 1889年 門司港が特別輸出港となる
- 1964年 北九州港が誕生
- 1971年 第一期CTがオープン  
(門司港/田野浦埠頭)
- 1979年 第二期CTがオープン  
(門司港/太刀浦埠頭)
- 2025年 開港136年を迎える

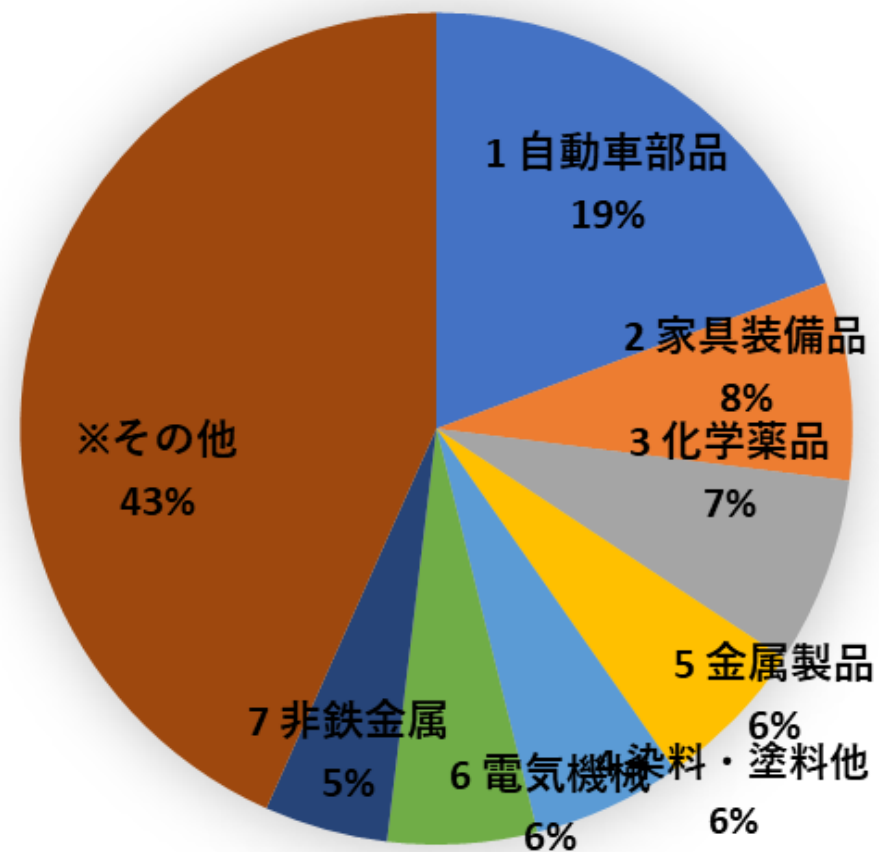


# 取扱実績 品目(2023年)

輸出



輸入



# 港湾荷役作業員とは？

船と港でコンテナなど荷物の積み  
卸しや運搬の作業を行う人



# ガントリークレーン



最大40.6t  
吊り上げることができる

31.5m



# ストラドルキャリア

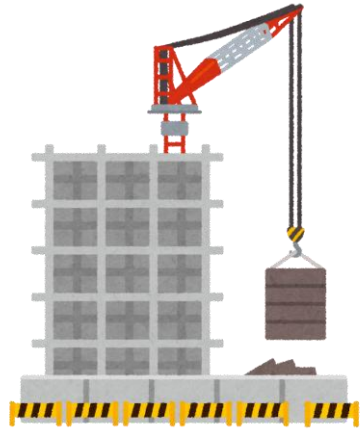
車重 約60t

コンテナを掴むと  
総重量 約90t



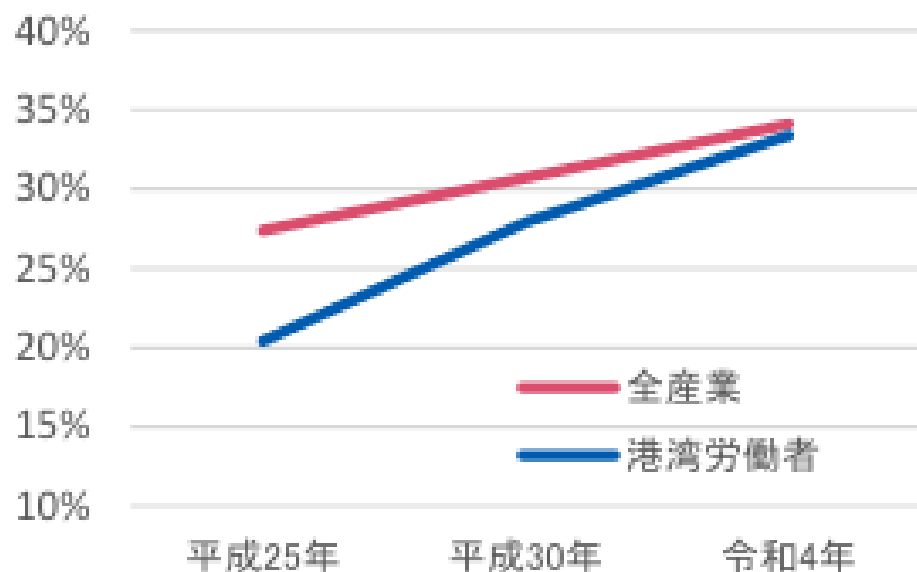






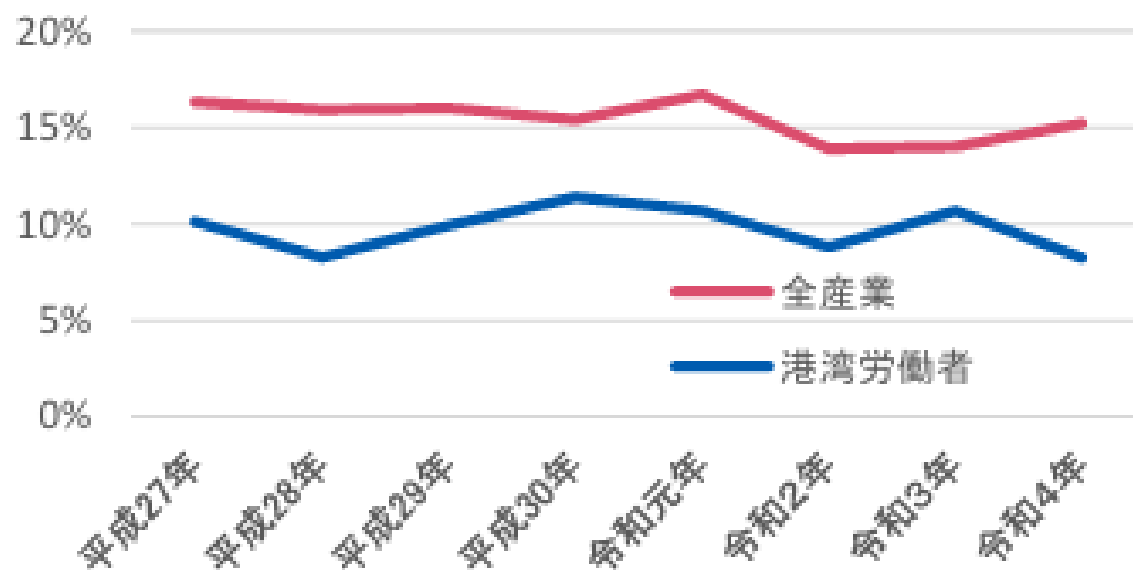
# 港湾労働者入力率等の比較

＜50歳以上労働者比率の比較＞



資料出所:賃金構造基本統計調査(厚労省)

＜入職率の比較＞



資料出所:全産業一雇用動向調査(厚労省)  
港湾労働者一厚生労働省職業安定局調べ



# みなとの仕事の魅力！【やりがい・達成感】

◆職場が様々な経済活動に関わる非常に多くの貨物を扱う仕事ということもあり、一つ一つの仕事で関わった貨物が世の中に流通し、人々の生活に貢献しているということが身近に実感できることが魅力。人々に生活を支えているのだと実感すると、自分が行っている仕事の意義ややりがいをとても感じる事ができる。

◆海外と関わる機会が多い少数精鋭の職場

◆船毎に仕事が完結するので、基本1日毎に仕事が終わる。同じ仕事は一度もなく、使う荷役機器・メンバーが少しずつ違うので、自分の裁量で出来具合が変わること。



# みなとの仕事の魅力！【やりがい・達成感】

◆荷役中には突発的なトラブルが起こることもあり、その際にはフォアマン（作業指導監督）としてどのように対応するか、船会社と現場との間の立場からどの方法がより効率的でベストなのか導き出すことには苦勞する場面もある。しかし、何事も「無事故・無災害」で終わらせることが重要であり、この仕事はとても責任のある仕事だと思っている。

◆機械オペレーターという仕事は、自分一人でする仕事で、仕事の段取りや操作を自分一人で判断して行うことができ、達成感のある仕事だが、万が一、事故を起こすとすべて自分一人の責任となってしまう場合がある。簡単な仕事ではないと感じるが、物流を支えるという非常にやりがいのある仕事なのでぜひチャレンジしてもらいたい。

# みなとの仕事の魅力！【働きやすさ】

- ◆努力をすれば評価されやすい職場
- ◆開放的で自由な雰囲気の職場
- ◆学歴とは関係ないところ
- ◆大型荷役機械に乗ればエアコンがあるため夏は涼しく、冬は暖かい
- ◆給料が働いた分もらえるので金銭面で生活が安定している

# みなとの仕事の魅力！ 【職種の多様さ、資格の取得】

- ◆大きな重機を操縦し、海外向けの貨物を取り扱うことで、自分が日本の貿易を支えていると強く感じる。
- ◆いろいろな機械に乗れること。
- ◆ストラドルキャリアの免許を取得するなど、他社では経験することのできない仕事もあり、自分ができることが増え、自信に繋がりがやりがいを感じる。
- ◆フォークリフトなどの資格を取らせてもらえフォークリフトの作業が上達していくところにやりがいを感じる。

# みなとの仕事 “ここが魅力！”

人々の暮らしに  
貢献

物流を支える

大型機械を  
操れる

ダイナミック

資格が取れる

海外と  
つながる



# みなとの仕事に就職したきっかけ

- ◆海外との物流に興味があり、体を動かすことが好きだったため。
- ◆育ってきた地元での就職を希望したため。
- ◆福利厚生がしっかりしていたから
- ◆資格がなくても就職できたから。
- ◆子どもの時から乗り物に興味があり、色々な乗り物に乗ってみたいと思っていた。その中でも港湾関係は乗り物の種類が多く、興味があったから。

# みなとの仕事に就職したきっかけ

学校や職場  
説明会

福利厚生

物流に興味が  
あった

給料が良い

規模の大きな  
仕事をしたかった

地元の職場

# 働きやすく、働きがいのある 職場に向けた取組み

- ◆定年までの定着率の向上のため各自の健康状態を把握し、適切な職場やポジション配置などを行っている。
- ◆ジョブローテーションして幅広い業務経験を積むことができるよう工夫している。
- ◆女性の管理者への登用を推進している。
- ◆初任給や昇給で意欲を高めるため、賃金面で従事業務に応じた職務給の単価見直しを毎年実施している。

海に囲まれた日本にとって、港は日本と世界を結ぶ海の玄関口です。

そして港湾運送事業は、海上輸送と陸上輸送の結節点の役割を担う重要な産業分野です。

人々の暮らしを支える大切な役割を一緒に担っていきませんか。

